

平成 29 年 2 月 23 日作成

評価年月日	平成 29 年 2 月 9 日
評価の概要	<p><b>1 平成 28 年度上半期取組の結果について</b> 廃棄物の排出量が減少していることは、県の努力として評価でき、EMS の効果が出ている。 温暖化対策は、意識を高くして頑張るというだけではどうにもならない。必要な施設整備を進めるとともに、遮熱シール等高い設備投資が不要な対策も検討していただきたい。 複写機用紙や事務用封筒の使用については、一括購入の計画（量やタイミング等）を明確にするとともに、ある程度の使用量に留めておくことを意識するようにし、「増加しても構わない」ということにならないよう取り組んでいただきたい。</p> <p><b>2 平成 28 年度事務局監査の実施について</b> EMS の取組もある程度以上厳しくなると、仕事の能率が落ちるといったこともあるので、それも踏まえて運用いただきたい。 環境リスクの高い事務については、セルフチェックの実施頻度を高めたり、意識を浸透させるためのシステムを構築し、それに携わるキーパーソンを育成するなど、重点的に改善するよう努められたい。</p> <p><b>3 次期岡山県地球温暖化防止行動計画（事務事業編）素案について</b> 対象に指定管理施設を加えることに関し、今後の設備投資計画も含め、取扱いについては、十分に検討することが必要である。 具体的な取組に、環境配慮の取組と快適な職場環境の両立の実現が掲げられたことは評価できる。その実現を目指して取り組んでいただきたい。</p>